

労働局長がベストプラクティス企業を訪問しました

岩手労働局（局長 白石好春）では、11月に実施している「過重労働解消キャンペーン」の一環として、時間外・休日労働の削減や働き方改革の実現に向けて積極的に取り組んでいる企業を「ベストプラクティス企業」に選定していますが、令和7年度は「株式会社 水清建設」を選定し、11月27日に労働局長が同社の矢巾営業本部を訪問して同社で行っている働き方改革に関する取組内容等について説明を受けるとともに、代表者や社員と意見交換を行いました。

岩手労働局では、今後も過重労働解消を始めとする「働き方改革」の取組を進めていきます。

企業（法人）の概要

法人名 株式会社 みずせい 水清建設

所在地 本社 盛岡市津志田町二丁目5-5

事業内容 主に官公庁が発注する工事を請負う総合工事業

従業員数 51名

働き方改革に向けた主な取組内容

建設業が抱える、人材不足と高齢化、若年層の採用難、長時間労働と危険作業、人材育成と技術継承の遅れ、古い慣習と非効率業務（デジタル化の遅れ）の課題を克服するため、働き方改革に取り組み、時間外・休日労働の削減と休暇取得日数の増加を同時に実現した。

【具体的な取組事項】

- 1．建設ICT（施工現場のICTを推進）
- 2．バックオフィスのデジタル化（管理業務の効率化）
- 3．柔軟な働き方（社員の声から生まれた多様な休暇制度と多様性支援）



株式会社水清建設はくるみんの認定も受けています。
平成28年　くるみん認定
平成30年　くるみん認定（2回目）
令和7年　くるみんプラス認定

【訪問時の記念撮影】



水本代表取締役(左)
と白石労働局長



出席者一同



1 ご挨拶をいただきました



挨拶する白石労働局長



挨拶する水本代表取締役

白石労働局長

先進的な取組で時間外・休日労働の削減など働き方改革を実現している株式会社水清建設様が取り組んでいる事項について意見交換をさせていただき、他の県内企業の取組の参考になるよう情報発信していきたい。

水本代表取締役

過去に社員が仕事と育児の両立に悩み、退職に至ったことがあった。このようなこともあり、働き方改革に積極的に取り組んでおり、育児休業期間の一部の賃金は全額支給するなど法を上回る対応を行っている。今後も社員の満足度、モチベーションアップに努めたい。

2 企業の取組について説明を受けました



企業の取組について説明する
総務部の担当者

平成29年にICT施工を導入した結果、丁張りが不要となる、建設機械の自動制御で高精度の施工ができる、補助員による施工後のチェックが不要になるなどにより、施工に要する時間・人員の削減、作業効率向上、安全性確保及び品質確保が実現しました。

また、令和5年以降、バックオフィス（勤怠+作業日報、請求書の受領・担当者への受渡し・社内決裁など）のデジタル化に取り組んだ結果、全社的な業務改善と生産性向上が実現しました。

これらの取組の結果、ICT施工導入前の平成28年とバックオフィスのデジタル化後の令和6年を比べると、時間外労働時間が1人平均で15.52時間/月 5.88時間/月、年次有給休暇取得率が16.83% 68.48%となり、時間外労働の削減と年次有給化取得率の向上を同時に達成しました。

建設ICT Information and Communication Technology

従来施工とICT施工の比較



バックオフィスのデジタル化 Back office digital transformation

受取請求書の業務処理効率化

- 2024年 取引先からの請求書をメール受領に
- 請求書データをグループウェア上で現場別に担当者へ受渡し
- 現場収支明細もグループウェア上のワークフローで決裁

バックオフィスデジタル化の効果

- 待機日数短縮 最大6日/月
- 移動時間短縮 最大10時間/月
- 移動コスト削減 3万円/月

デジタル化で全社的な業務改善と生産性向上へ

取組結果 Initiative results

時間外労働と年次有給休暇取得率（平均）

	ICT施工導入前	ICT施工導入後		バックオフィスデジタル化導入後
年（1月～12月）	2016年	2017年	2022年	2024年
従業員数	32	39	49	52
月時間外労働時間	15.52	18.17	11.45	5.88
年次有給休暇取得日数	3.02	8.64	4.86	20.52
年次有給休暇取得率	16.83	59.75	51.06	68.48

3 労働局長がICT施工とバックオフィスのデジタル化の操作体験をしました

時間外・休日労働時間の削減と年次有給休暇取得率向上の原動力となった「ICT施工」と「バックオフィスのデジタル化」について、実際に携わっている社員の方から労働局長が説明を受け、これらの操作の一部を体験しました。

「ICT施工」については、施工現場の地形が3Dでパソコンの画面上に再現されていることを確認しました。

「バックオフィスのデジタル化」については、書類を印刷してやり取りすることなく、画面上で処理が完結することを確認しました。



土木部の担当者から
ICT施工について説明を受ける
白石労働局長



総務部の担当者からバックオフィスの
デジタル化について説明を受ける
白石労働局長

4 企業の代表者や社員の皆さんと意見交換・懇談を行いました

「ICT施工」について、メリットとデメリットをお尋ねしたところ、「測量が、従来の方法で行うより手間がかからず、しかも正確」、「重機の操作について、経験が少ない者でもベテランオペレータ並みに仕事ができる」、「導入に初期費用はかかったが、5年前後で元が取れたのではないかなど多くのメリットがある一方、「作業員に操作等を理解してもらうのに2年ほどかかった」、「技術的にICT施工ができない工事現場もある」とのお話もありました。

「バックオフィスのデジタル化」に関しては、「導入するまでには3年ほどの時間を要したが、導入後は1年程度で全員が問題なく使いこなすようになった」とのことでした。

株式会社水清建設では、令和7年6月から完全週休2日制を導入しましたが、導入に当たって支障はなかったか尋ねたところ、「協力会社も週休2日制を取入れており、特段の支障はなかった」とのことでした。

意見交換や懇談を通じ、株式会社水清建設の取組は同業者に対し非常に参考になると感じました。この取組の姿勢が県内の事業者の労働時間削減に向けた意識の高揚につながってほしいと願うところです。



水本代表取締役と意見交換



社員の皆さんと懇談